



2022年11月18日

報道関係者各位

慶應義塾

福澤諭吉「学問のすゝめ」刊行 150 年 慶應義塾「ガクモンノススメ」プロジェクト 始動！

2022 年は、福澤諭吉が『学問のすゝめ』初編を刊行してから 150 年の節目となります。

この機会に、本学では「ガクモンノススメ」プロジェクトが始動しました。

当時の『学問のすゝめ』に書かれた福澤諭吉の考えは、150 年経った今でも色あせることなく、未来の予測が難しい現代を生きる私たちの羅針盤となっています。ぜひ、これからの未来を切り開いていく若者などに向けて、現代にも通用する示唆に富んだ『学問のすゝめ』を読んでいただく機会を提供したいと考えています。

特設サイトを公開し、第 1 弾として、本日より慶應義塾長伊藤公平と卒業生の櫻井翔さんとのスペシャル対談動画コンテンツを配信しました。

今後、本サイトを通じて、「ガクモンノススメ」プロジェクトの各種イベントのお知らせ、各種動画コンテンツを展開いたします。



「ガクモンノススメ」プロジェクト特設サイト

<https://www.keio.ac.jp/ja/gakumon150>



ガクモン
ノススメ

「学問のすゝめ」150 周年プロジェクト



櫻井翔さんと伊藤公平（慶應義塾長）の対談動画



櫻井翔さん

1. 福澤諭吉の『学問のすゝめ』と慶應義塾

1858（安政 5）年、大坂で緒方洪庵のもと蘭学を修めた福澤諭吉は、国許の中津藩の命を受け、江戸の築地鉄砲洲に蘭学塾を開きました。これが慶應義塾の発祥です。幕末から明治という激動の時代に、幕府使節団の一員として三度の海外への渡航の機会を得て、欧米諸国を訪れ、帰国後はその見聞を著すとともに、旧習にとらわれない教育を実践しました。1868（慶應 4）年、塾舎を芝に移転し、時の元号にちなみ「慶應義塾」と命名。1871（明治 4）年には三田に移り、現在につながる礎を構築しました。

三田に移転した翌年に刊行した『学問のすゝめ』では、自由・平等の尊さと学問の重要性を説き、広く社会に受け入れられました。その福澤の精神は、一身の独立を論じ、一国の独立を念じ、志操はあくまでこれを高く堅持する「独立自尊」の精神にほかなりません。その建学の精神は慶應義塾にいまも脈々と受け継がれています。

『学問のすゝめ』:

1872（明治 5）年に福澤諭吉と小幡篤次郎により初編が刊行され、1876（明治 9）年にかけて 17 編の分冊として世に出た後、1880（明治 13）年に合本とし、1 冊の本として出版されました。

『学問のすゝめ』には人間が生きていく上で備えるべき根本的な姿勢が説かれています。

2. 「ガクモンノススメ」ステートメント

「勉強ってなんのためにするの？」

誰もが一度は考えたことのある質問でしょう。

今から 150 年前、福澤諭吉は『学問のすゝめ』を刊行しました。西洋化が急速に進んでいく中、国難を乗り越える切り札として、学問の重要性を広めたのです。

貧困、戦争、疫病。すぐには答えの見つからない時代を、私たちは生きています。人間が生きていく上で備えるべき姿勢を説く『学問のすゝめ』は、時代を超えて、良き道標となるでしょう。

「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」この続きに、現代を生き抜くヒントがきっとある。勉強ってなんのためにするの？その答えだって。

今こそあなたに、ガクモンノススメ。

3. 「ガクモンノススメ」特設サイトの概要

<Special Movie>

第 1 弾： 慶應義塾長伊藤公平×櫻井翔（2004 年経済学部卒業）による『学問のすゝめ』を読み解くスペシャル対談（前編）約 22 分（後編）約 23 分

この後も続いて、伊藤塾長が各分野で活躍されている卒業生や慶應義塾関係者らとのスペシャル対談を行う予定です。このサイトで対談動画を掲載していきますので、ご期待ください。

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部、教育部、文化部等に送信しております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（豊田・望月）

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>